

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひかりもせうし（放課後等デイサービス）					公表日	2025 年 3 月 31 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・適切。粗大運動ができるスペース、少人数で活動出来る部屋も確保しており、静と動を区別した空間づくりを行っています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・適切な人員を配置しています。	(課題) トラブルがあった時に人手が取られて、他のお子様に対して手薄になってしまう状況があります。 (改善に向けて) いつもと異なる状況下でも、どのお子様にも配慮できるよう職員間で連携し対応していきます。体調不良や有給取得などで人員が不足する際には、他事業所からヘルプに来ていただき、適切な人員配置に努めています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・イラストや文字を用いて視覚による確認ができるよう工夫しています。	(課題) バリアフリーではない。 (改善に向けて) 現在、利用しているお子様は支障なく過ごしていますが、今後ご利用されるお子様でバリアフリー化が必要な場合には、お子さんの特性や障がいに応じた改善を図っていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日清掃、消毒、整理整頓を行っています。施設設備の管理をし、安全に利用できるよう配慮しています。 ・身体を動かす活動スペース、絵を描いたり読書したりする等静かな遊びが出来るスペースとゾーン分けをして活動内容に配慮した空間となっています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・活動やお子様の状態に合わせて別室を利用できるようになっています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・活動内容やねらいなどを事前の打ち合わせで共有し、事後の振り返りを全職員で行い次につなげています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者様からいただいたご意見は職員間で共有し改善に向け取り組んでいます。また、保護者向け評価表のみでなく、行事等のアンケートを実施しています。いただいた感想やご意見を次の行事に取り入れるなど、より良い活動提供ができるように工夫しています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎日の打ち合わせだけでなく、毎月のレク会議や事業所会議にて、意見を出し合う機会を設けて、改善点があれば次に繋げています。また、個人評価シートやストレスチェック、個人面談等を定期的開催し、意見等を汲み			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		(課題) 外部評価の実施には至っておりません。 (改善に向けて) 今後外部評価が入った際には、より良い業務展開が出来るよう改善に努めます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・社内研修や外部研修などに参加し自己研鑽を積んでいます。また、研修の案内を職員に周知し、誰でも参加できる体制を整えています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・5領域に沿った活動内容の設定を行っています。	・令和7年度から作成公表の義務化に伴い、プログラムの作成し公表しています。		

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・利用時のお子様の様子や保護者様からの情報を基にアセスメントをし、お子様からの聞き取りや課題、ニーズを客観的に分析評価し計画案を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・サービス担当者会議を開催し、職員間で意見を出し合い、お子様に合わせた支援計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・支援計画は原案の段階から職員間で検討、修正を行い、全職員で作成に携わっています。 ・レク会議や日々の療育の中で、計画案に沿った活動提供や支援を実施しています。また、支援内容に沿った記録を行い、モニタリング時に活用しています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・検査結果などフォーマルアセスメントの情報はもちろん、全事業所共通のツールを活用し、お子様の状況を把握しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ガイドラインの勉強会を行い、計画は各項目を網羅した内容になっています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・立案は、毎月のレク会議や朝の打ち合わせで確認・修正、共通認識しチーム一丸となって取り組んでいます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・会議にて確認、修正したり、研修での資料を活用しながら、お子様が様々な経験ができる活動内容となるよう工夫しています。 ・ねらいや目標の習得に向けて積み重ねが必要と思われる活動については、定期的に繰り返し実施することがあります。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・状況を鑑み、個別活動・集団活動を組み合わせ合わせた支援計画の作成、支援をしています。主に集団活動の中に個々の目標に沿った支援を行っていますが、時間や職員の配置を調整し、個別に支援する時間を増やすなど工夫しています。	
適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・前日や当日朝の打ち合わせで確認し、連携して支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・送迎終了後か、もしくは翌日の朝の打ち合わせで反省、振り返りを行い、次につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・活動の様子を毎日記録しながら、反省やより良い支援になるよう検証を行い、次につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6ヶ月毎に行っています。また、必要に応じて期間を短くして見直すケースもあります。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・余暇の時間を毎日確保しながら、基本活動を組み合わせ合わせた支援を行っています。	(課題) 中学生に向けた自立支援を行っているが小学生に向けた活動が不足している。 (改善に向けて) ソーシャルスキルを身に付けられるようSSTを定期的実施していく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・レクへの参加有無の確認や、活動の中で「自分で選び、決める」場面の設定を行い、自己選択・決定の経験が積めるよう意識して取り組んでいます。 ・中学生の自立支援レクで、自分たちで話し合っって計画、立案、実施を行い、自己決定力、実行する力を養っています。指導員は必要に応じて手助け、助言をしています。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・管理者または児発管が参加している。	(課題) 参加する職員が固定化されることで、他の職員が経験を積むことができない。 (改善に向けて) 今後、お子様を担当している職員も参加する機会を作り、経験を積めるようにしていく。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・各地域の保健師を中心とし、必要に応じて、各関係機関とも連携し支援を行っています。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6		・年間行事、毎日の下校時間については保護者様にご協力をいただき把握しております。 ・妹背牛小学校、真竜小学校におかれましては、学校側の都合で下校時間が変更になる場合にはご連絡をいただき、情報共有できています。 ・送迎やトラブル発生時には速やかに学校へ連絡し対応について共有しています。	(課題) 地域によって学校の先生とお話をする時間が取れない場合がある。 (改善に向けて) 今後も情報共有や調整がしやすい関係性の構築に努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・就学前に関係機関が集まり、情報を共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	6	・該当するお子様がおらず、行っていません。	(課題) 実施にはいっていない (改善に向けて) 今後このようなケースができた際には、情報共有する場を設け、新たな場へスムーズに移行できるようお手伝いいたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・深川市療育センター等と連携し、関わり方や支援の助言をいただき、日々の療育に活用しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	・お子様自身が学童と併用していたり、ひかりを利用していない日に地域のお友達と遊ぶ機会があることから、事業所として地域のお子様と活動する機会は設けておりません。	(改善に向けて) 今後ニーズがあれば、検討していきたいと思えます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・深川市自立支援協議会が開催する会議や研修会に定期的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡帳や送迎時に活動内容をお伝えしています。その際に、保護者様から相談や困り感について伺わせていただきました。また、面談時にも情報交流をし、お子様の課題やそれについての支援についてお話をしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	・面談時にご家庭での関わり方などを助言させていただいております。	(課題) ペアレントトレーニングや研修などは実施していない。 (改善に向けて) 今後、検討していきたいと思えます。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時にご説明しています。 また、事業所玄関ホールにていつでも観覧できるよう掲示しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・お子様からの意向の聞き取りと、保護者様との面談の際に、主訴やニーズ、今後の意向を聞き取りさせていただき、個別支援計画に反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・実際の計画書を提示しながらご説明させていただいています。各項目について丁寧に説明を行い、同意をいただいています。 また、作成時専門用語をなるべく使わないようにし分かり易い内容の工夫をしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・相談を承った際には、その場で助言をしたり、職員間で支援の検討を行い、その内容をご家族と情報共有するなど適切に対応してきました。	・ご家庭での困り事や悩みなど、些細なことでもかまいませんので、何かあれば今後もお気軽にお声掛け頂ければ幸いです。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・主に親子レクを通じて、保護者や兄弟児同士の関わりが持てるよう企画し実施しています。	(改善に向けて) 父母の会、保護者会はありません。 (改善に向けて) ・上記設置のニーズがあれば、検討します。 ・行事の際には、ご家族の皆様からご協力をいただけて、大変感謝しております。上記設置には至っていませんが、今後ご理解ご協力をいただきながら、お子様の健やかな成長をサポートしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・幸いにして苦情をいただく事案はありませんでしたが、いただいたご意見に対し迅速かつ適切な対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月1回ひかりだよりの発行にて活動の様子を含めた情報をお伝えしています。また、本社運営のインスタグラムにて事業所の取り組みを写真や動画で配信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・おたより、インスタグラムへの写真、動画の使用については許可をいただいたお子様のみとし、間違っても掲載しないようダブルチェックをしています。 ・情報提供の際には、必要最低限の情報のみとしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・口頭での説明の他、図やイラストなどを用いて分かり易い工夫をしながらお伝えしています。また、日頃の活動の様子については連絡帳等を活用した紙面の他、LINEにて写真を添えてお伝えすることもありました。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・避難訓練、ハロウィンパレードなどで地域の皆様のご協力をいただいている。	(改善に向けて) 次年度は、地域の行事に事業所として参加するなどし、より地域との繋がりを意識した活動計画を行いたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・各マニュアルの策定、職員間の共有、消火訓練、防犯訓練、救急救命講習などを行っています。当事業所は、応急手当協力事業所に認定されています。	・策定についてはこの評価シート公表にてお伝えしていますが、内容をご覧になりたい方はいつでも対応いたしますのでお声がけください。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・色々なシチュエーションを想定した訓練を定期的実施し、年間行事予定表や毎月のおたよりにて実施の周知をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・保護者様に利用調査票を記入していただき確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・保護者様からアレルギーの有無を聞き取り、提供する食物を確認しています。検査はしていないけれど心配があるお子様の場合は都度保護者様に確認して対応しています。	・医師の指示書があるアレルギーのお子様については、土曜日の昼食提供の際、ご家庭から昼食を持ってきていただく等、ご家庭のご協力をお願いすることがあります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・共有し、再発防止に向けて話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・毎年全事業所で行う全体研修や事業所で虐待防止研修を行っています。また、外部研修にも積極的に参加し、虐待防止に対する意識強化を図っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・虐待防止に関する研修で、何が良くして何が虐待や身体拘束に当たるのか、を定期的に全職員で学び、意識して支援に当たっています。必要ケースがある場合には、先の通り実施いたします。	・止むを得ず身体拘束の必要性があるケースについては、必ず、その必要性がある状況をご家族と共有し、方法、時間について了解を得ます。